

【なつまつり】

★取組みについて

この取組は、地域の方々と保育園関係者（卒園児・在園児等）が、なつまつりを通じて交流を図るための取組。

★取組みを行って

保育園が始まった頃から、一日働いてきた保護者と共に夏のひとときを楽しみましょう、また保育園の周辺の人々の理解あつての保育園活動という思いから、周辺の人たちも誘って理解を深めて行く事が出来ると良いのではないか。という経緯。

【「ざっくばらんの集い」への参加】

★取組みについて

【地域事業への参加】

〈 取組の概要 〉

地区社協が中心になり、平成21年に地域の課題解決のための「話し合いの場」として発足した集いに平成26年11月から参加し、地域の問題解決の一助を担っている。また「大成地区社会福祉協議会実践計画」「大成地区ふれあいマップ」の製作にも協力している。

〈 構成メンバー 〉

○大成地区市民委員会福祉部を母体とし、旭川銀座商店街振興組合、北方建築総合研究所、大成地区民生委員・児童委員協議会、中央包括支援センター、旭川社会福祉協議会、当法人が参画。

〈 担当事業所 〉

○養護盲人老人ホーム旭光園（施設長・他）

〈 役 割 〉

- （１）会場の無償提供 （２）社会資源・専門知識の提供
（３）作成された、「マップ・実践計画」等の印刷・経費等の負担 （４）その他

★取組みを行って

◇参加回数：平成30年度 8回（13時30～15時）

※関係団体との繋がりができ、地域の福祉ニーズ・課題が具体的にわかり、地域共生社会の構築に、法人がどう係るかの指針になる。

参考：事業HPアドレス <http://motonr.net/zakku-baran/index.html>

【地域との協働（地域の夏祭りへの協力等）】

★取組みについて

以下の地域のまちづくり活動に参加し、地域の活性化や防犯活動に協力する取組です。

- ①年 1 回の地域の連合町内会主催の夏祭りに、子供たち向けの屋台を出店し参加しています。
- ②地域の防犯活動の一環である青色回転灯パトロールに通年参加しています。

★取組みを行って

①夏祭りへの出店参加

平成 28 年度から積極的な地域貢献活動の一つとして、法人や施設の PR も兼ね参加しています。会場には子供向けの屋台が少ないため、これまで「魚釣りゲーム」「カーリングゲーム」「射的」など地域からの要望に応える形で出店を行っています。毎年盛況ですが、出店に係った費用以外の売り上げは地元に寄附をしています。

②青色回転灯パトロール

地域の関係機関・団体によって設立された「まちづくり協議会」活動の一環として、青色回転灯を装着した車両による防犯パトロール活動が始まり、当施設にも参加の呼びかけがありました。これを受け、平成 22 年からデイサービスの送迎時に合わせ、同車両によるパトロールを行っています。

【夏祭り】

★取組みについて

特養を中心とした法人内旭ヶ丘地区施設合同で夏祭りを開催し、入居者や家族、地域の方々との交流の場としている。

昨年からは近隣の児童養護施設の子供たちを招待し交流を行なっています。

★取組みを行って

措置時代から入所者と家族との交流の場として実施していたが、最近は地域との結びつきの重要性から地域の方や近隣の児童養護施設の子供たちを招待し交流を図っている。



【運動教室への職員の派遣】

★取り組みについて

市の委託事業として地域包括支援センター要援護者を対象に実施していた運動教室が平成29年度で終了したことで町内会から運動教室の存続の希望があり、月1回運動教室実施日に職員を派遣する。

★取り組みを行って

運動教室実施については、町内会が主体として実施していただき、職員派遣は補佐的役割とした。要援護者を対象にしていた運動教室が廃止によって、地域との関係性の希薄化が予想されたが、地域より独自に運動教室存続の希望から、町内会と協議し、運動教室を実施することになり、現在も地域との交流関係が継続するにいたった。

【地域の花壇苗花植込み協同作業】

★取組みについて

地域の環境美化のために、花を植える作業ですが、地域の人だけでは作業日に人を集めることができない状況があり、苗花の納品時に利用者、職員数名で植込みのお手伝いができないか検討しました。

※2 か所あり（やまべまちおこしネットワーク、麓郷環境保全会）

★取組みを行って

当事業所の就労支援事業で生産している苗花の購入をしていただいたことがきっかけで始まりました。一緒に作業を行うことで、地域団体の予定していたスケジュールで植込み作業を終えることができるようになりました。また、当事業所利用者と地域の方との交流の機会を持つことができます。



【障害者施設合同地域交流感謝祭サンキューフェスタの開催】

★取組みについて

長年にわたり、開催されてきた合同体育祭・家族懇親会を、平成18年度からサンキューフェスタという名称のもと、交流事業という形による開催を重ねて来ました。

★取組みを行って

開催当初は、合同体育祭からの変更という事もあり、利用者家族との交流が主だった目的でありましたが、会を重ねる毎に行事規模並びにアトラクション内容等も見直しを進め現在では、近隣住民並びにアトラクション参加協力いただく各団体関係者も加わり、一定規模の行事へと発展していきました。

【ふれあいのまちづくり事業への支援】

★取り組みについて

この取り組みは、黒松内町社会福祉協議会主催「ふれあいのまちづくり推進事業」への支援として、運営事業費90万円の資金助成を行っています。そして、地域交流事業の開催・運営への職員等の派遣・協力を行い、地域住民との交流や施設利用者の社会参加、地域住民の福祉事業への理解を深めるため、町社協と協働で実施しています。また、町民と当法人施設利用者（児童と高齢者、障がい者）が交流し、相互理解を深める事業として、多くの行事が行われてきました。

障がい福祉施設でのふれあいまつりやゲーム大会、特養・老健施設での介護教室・リハビリ教室などの行事を、町社協職員と法人職員が協力して実施しています。また、施設職員・利用者と町民と一緒に、苗植えやしめ縄づくり、木の葉メールづくりといった体験を通じて、地域住民とのふれあい交流の輪を広げ、地域住民と障がい者や高齢者すべてがともに支えあう地域社会づくりを協働で行っています。

★取り組みを行って

この取り組みは、平成4年に厚労省から「ふれあいのまちづくり事業B型」として当法人が指定を受けてスタートしました。その後、国からの助成は5年間で終わりましたが、事業を継続して行い、黒松内町社協との協働事業として現在まで実施しています。これまで、しりべし学園の「ふれあいまつり」の他に黒松内つくし園「ふれあい雪まつり」や運動会、盆踊り大会、七夕交流会といった多くの行事を毎年行ってきました。



【町・漁協主催の海岸清掃への児童、職員の参加】

★取組みについて

この取組は、漂流物やポイ捨てのゴミなどで汚れた海岸を綺麗にする取組みです。

★取組みを行って

平成 30 年度は約 400 人（全体述べ人数）が参加しました。

漂流物やゴミを取り除くことで景観がよくなり、参加児童・職員も満足していました。

【フラワーロード整備事業】

★取り組みについて

春光台一条方面から福祉村へ向かう道路に花を植え管理する取り組みです。毎年ポット詰めから定植、水やり、草取り等を行っています。

★取り組みを行って

地域の方と学園を利用する方々が共に行えるよう配慮しています。地域の方に名前を呼んでもらったり、外出時に声を掛けてもらったりして皆がうれしそうにしている時、やって良かったと思います。

【地域との環境整備共同事業】

★取組みについて

近隣地域の歩道花壇の整備・花植付け

★取組みを行って

地域住民と交流が深まり、自然との触れ合いの場となった。

【夏祭り・秋祭り協力】

★取組みについて

夏祭り・秋祭り協力…過疎化が進み、地域のお祭りなどもなくなっていく中で、園児が参加し、祭りを盛りあげる事で楽しんでもらえるようにするとともに、職員が運営に関わる事で担い手となり協力し、地域とのつながりを深めている。

★取組みを行って

少子化により活動がなくなる方向になっていた事から、地域、女性部、育成協議会、保育所が協力して取り組めるよう働きかけた事で少しずつ定着してきており、活気を取り戻してきています。夏祭りでは事務局等中心的な立場です。秋祭りでは地域の子どもだけでなく、保育所、学童クラブを利用している他地域の子どもたちの参加もあり、喜ばれております。

【町内会との合同夏祭り】

★取組みについて

11 年前より施設が所属する町内会と合同で、夏祭りを行なっています。7 月第 3 日曜日、午前中に設営をして、子ども神輿が施設内を回り、午後より施設前広場にて、施設側、町内会側とそれぞれ焼き鳥の屋台、ヨーヨー、かき氷、綿あめなど露店を開き、催し等も合同で楽しむ内容となっています。

★取組みを行って

町内会から、施設の一部を貸してほしいと依頼があり、合同開催の形態でまとめ、現在も続いています。準備段階から、町内会役員と施設の夏祭り委員が打合せをしながら早い段階ですすめています。

町内会の方と日頃から顔合わせすることがないので、関係づくりができて、職員も夏祭り以外にも春の町内会清掃や草刈りなど積極的に参加しています。当日は、施設の利用者や家族、職員、地域の方々、約 300 人が参加し、地域の行事として根付いています。

【町内会盆踊り大会（あいらん・エンルム協賛）】

★取組みについて

施設機能の開放と、地域住民の方との関わりを持つ機会づくりを目的とし、近隣町内会と協議し、毎年町内会で実施している「盆踊り大会」を当施設敷地内広場で実施しています。

★取組みを行って

地域住民の方、200 名程度、当施設入居者 80 名が参加し、露店の出店もあり盛大に開催されます。地域の方と入居者、施設職員が関わる機会づくりとなり、地域の方に施設を知っていただける貴重な機会となっています。今後も継続して実施する予定となっています。

【向陽園祭の取り組み】

★取り組みについて

この取組は浦河向陽園という施設を地域住民に理解していただく事を目的としています。一部外部販売の協力、イベント開催、バザー販売などを行い、毎年多くの来訪者があり、大変貴重な地域の交流の場と考えています。

★取り組みを行って

開設当初より浦河向陽園の一大行事の一つ「収穫祭」として取り組んできました。以前は地域住民の方との交流もありましたが、収穫した野菜販売が大きな目的でした。しかし取り組む中で、本来の目的でもある「地域との交流の場」という考えから、「収穫祭」から「向陽園祭」に名称も変更し、野菜販売はもとより、イベント、外部販売、バザー販売などを中心に「お祭り」という内容に替えることで、外部からの訪問者も多くなりました。各関係機関、ボランティアの方々等のご協力を頂き開催することで、地域の方との関係性も出来ました。利用者の方々も毎年多くの方が来園することで「お祭り」を一緒に楽しむ事ができ、大変貴重な交流の場となっています。